

「てっちゃん」でなく「萩野先生・君」と呼ばれるようになりました。

黒石病院研修医 1 年目の萩野哲広です。研修医として働き始めて半年経過しましたが、まだまだできないこと、学ぶべきことがたくさんあり、毎日反省ばかりしています。それでも周りの人に支えられ、充実した日々を過ごしております。

働き始めた当初は早く色々なことをできるようになり、先生方やスタッフの仕事を軽減しよう！と意気込んでおりましたが、現実はその甘くなく、自分の無力さをただただ痛感させられるばかりでした。そんな私に丁寧に指導して下さる先生方や看護師さんなど病院関係者の皆様には本当に感謝してもしきれません。2 年間という限られた期間しかいませんが少しでも医療者として成長し、恩返しできるように全力で仕事に取り組んでいく所存です。

そんな社会人になりたてのダメダメな私ですが、学生当時と比較すると些細な変化があることに気が付きました。私はかれこれ 20 年以上にわたりてっちゃんと呼ばれ続けていますが、この春からついに「萩野先生」「萩野君」と呼ばれるようになったのです。先生と呼ばれるにはまだまだ未熟ですが、相応しい人物になれるように頑張りたいです。それでも、てっちゃんと呼ばれなくなる寂しさもあるので、てっちゃんと呼んでくださる人もいなくならないようにしたいです。もう一つの変化としては趣味としてマラソンを始めたことがあります。黒石病院にはかけこクラブがあり、そこに入会させていただきました。仕事を疎かにせず、毎月 100 キロ走ることを目標として今は走っております。黒石の町並みは夜だと真っ暗で怖いですが、仕事終わりに走ることをこれからも続けていきたいです。そして、来年はフルマラソンで好タイムを出せるようにします！道端で見つけた際にはぜひお声がけください。

黒石病院でのこの貴重な出会い・研修を無駄にしないように、これからもより一層努力し、毎日を大切にしていきたいです。

研修医 1 年目 萩野哲広